成人期 X 連鎖性低リン血症性くる病・骨軟化症患者の臨床像の調査

１．研究の対象

2023 年 10 月～2026 年 3 月に当院に通院歴のある XLH 患者

２．研究目的・方法

小児 XLH 患者におけるくる病や成長障害に対して、ヒト型 FGF23 モノクローナル抗体 Burosumab が従来のリン製剤と活性型ビタミン D の投与による治療よりも高い治療効果を示したと報告されているが、成人での治療効果の報告は少ない。本研究では、医誠会国際総合病院を受診した患者における小児期およびそれ以降に出現した臨床上の問題について、患児の成長段階や疾患的背景を基に解析することで、患者の健康および医療の向上に繋がる様々な知見を得ることを目的とする。電子カルテを用いて後方視的観察研究として研究を行う。

３．研究期間

研究機関の長の実施許可日～2026 年 3 月 31 日

４．研究に用いる情報の種類

情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、　等

５．利用又は提供を開始する予定日

研究機関の長の実施許可日～2026 年 3 月 31 日

６．研究組織（利用する者の範囲）

医誠会国際総合病院　北岡　太一
医誠会国際総合病院　大薗　惠一
医誠会国際総合病院　中道　龍哉
医誠会国際総合病院　齋藤　広幸
医誠会国際総合病院　今西　康雄

７．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究実施計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
研究責任者：
医誠会国際総合病院　小児科　北岡　太一
大阪大阪市北区南扇町４－１４
0570-099-166